リーディングDXスクール事業 【実践事例】

朝日町立さみさと小学校

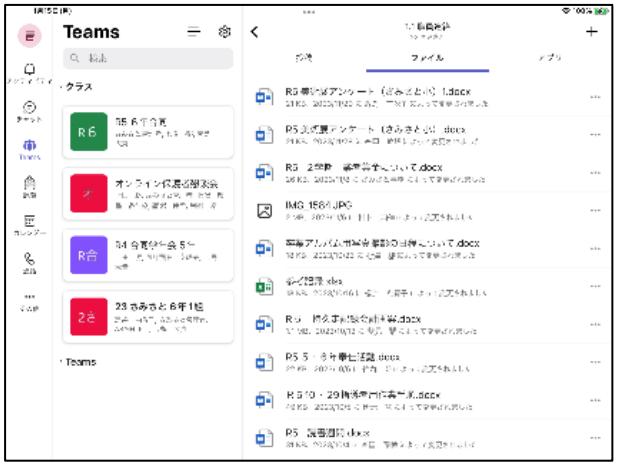
【取組内容】 ICTを活用した校務の効率化

校務DX（標準仕様とクラウドを活用し教員の働き方改革につなげる取組）

校務におけるペーパーレス化

クラウドサービスの承認機能を活用し、一部の文書を起案しています。データ文書を直接加除修正することができるため、業務量の減少につながっています。

職員会議においては、クラウドを活用し、ペーパーレス化を図っています。資料を印刷したり職員全員に配布したりする作業を省略することができるとともに、資料をデータで残すことで管理面においてもメリットがあります。職員連絡をクラウドで行い、職員全員で情報の共有と共通実践することにつながっています。

クラウド活用によるデータ共有・共同編集

クラウド上で資料を作成します。複数名で同時に共有したり編集したりすることが可能になります。これまでＵＳＢ等でやりとりしていたファイルをクラウドで管理することになり、メディア等の紛失による情報漏洩のリスクをなくすことができます。また、学校間における資料の作成にも活用することができます。作業が大幅に削減され、これまで保存時に生じていたミスがなくなります。研修会においても、クラウドを活用しています。事前研修の際に、クラウド上で指導案を検討したり、授業の感想を伝え合ったりして研修を深めることができます。